令和２年度 国立吉備青少年自然の家教育事業
親子でスター☆彡 チャレンジキャンプ！

１．事業の目的（趣旨・ねらい）

今年度、新型コロナウイルスの影響により外で活動する機会が減少しており、自粛傾向も払拭されていない。夏休みに家族で出かける機会の一つとして吉備の森で自然を満喫し、全力で体を動かす活動を行いながら親子のきずなを深める。また、ペルセウス座流星群の観測を通して自然の素晴らしさを知るきっかけを提供する。

２．事業の概要

（１）期日

令和２年８月１１日（火）～８月１３日（木）２泊３日

（２）参加者

① 募集対象・人数
小学校１・２年生とその家族（５家族２０人程度）※岡山県内の方限定

② 参加人数
６家族１９人

（３）企画・運営のポイント

① 新型コロナウイルス感染拡大防止のために、参加者に朝夕の検温、適宜マスクの着用、活動前後のアルコール消毒を徹底した。

② 三密を避けるために、屋外での活動を中心に実施した。また、家族ごとで活動を行うことにより、他家族との接触の機会を減らした。

③ 参加者の年齢を考慮し、余裕を持った時間設定を行った。また、夜の活動が長い日には、昼寝の時間を設け、休息を入れることも活動の一つとした。

④ 保護者の理解を求めるために、開会式の際に目的の確認を行い、スムーズに活動に取り組めるようにした。

⑤ ３日目最後の活動前に、保護者同士で話し合う時間を設け、キャンプでの子供たちの様子や、日ごろの子育てに関する情報交換を行った。

⑥ ボランティアの研修のために前泊を行い、実地踏査や細案について共通理解を深める時間を設けた。

⑦ キャンプファイヤーでは、ボランティアが中心となって進行やレクリエーションを行い、参加者同士の交流を深めるとともに、ボランティアの研修の機会とした。

３．活動の内容等

（１）日程

	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22														
8/１１（火）							受付	開会式	アイスブレイク	国少WR	夕食	暗闇散策 ネイチャーゲーム	シャワー		就寝
8/12（水）		起床 洗面	検温	野外調理（カートンドック）	山道チャレンジ！家族みんなで大冒険！ 昼食（レストラン弁当）					休憩 お昼寝	夕食	シャワー		ボンファイヤー 星空の話	流星群 ウォッチング
8/13（木）		起床 洗面	検温	野外調理（雑炊）	片付け	野外炊事			閉会式						

（２）活動の状況

【アイスブレイク①】

【アイスブレイク②】

【ウォークラリー①】

【ウォークラリー②】

【野外調理：カートンドッグ】

【山道チャレンジ！家族みんなで大冒険！①】

【山道チャレンジ！家族みんなで大冒険！②】

【山道チャレンジ！家族みんなで大冒険！③】

【山道チャレンジ！家族みんなで大冒険！④】

【キャンプファイヤー】

【野外調理：カレー作り①】

【野外調理：カレー作り②】

４．成果・課題

（１）満足度

満足：８３％　やや満足：１７％

（２）参加者の声

①　子供主体で、良い経験をさせてもらいました。

②　すすんで掃除などのお手伝いができており、子供の成長が見られた。

③　とても楽しく過ごせました。

④　山道のマップを一生懸命見て進もうとしており、子供の成長が見られた。

⑤　自分達ではなかなかできない貴重な経験をさせてもらいました。

（３）成果

①　新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を考えて、宿泊や入浴を含めて活動を家族ごとで行うことで、接触の機会を減らし、安全に活動することができた。また、毎日の朝夕の検温、手指消毒も徹底して行った。

②　天候について、随時予報や雨雲レーダーを見ながら活動実施や移動などの判断を行った。その結果、時間延長や短縮もあったが、すべて晴天プログラムを実施することができた。

③　体力的に負荷のかかる活動の後には十分な休息時間を設け、小学校低学年でも夜の活動に十分取り組むことができた。

④　３日目に保護者同士の情報交換を行う時間を設けることにより、事業を通して成長した子供たちの様子や、普段と違う様子などを振り返るとともに、子育てに関する意見交換をすることができた。

（４）今後の課題

①　新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、他家族との交流を控えるような活動を主に行ったが、今後、感染防止対策に考慮しながらも他家族との交流ができるような企画や指導を検討していきたい。

②　コロナ渦の中で、より良い体験活動の在り方を模索していく必要がある。

担当：企画指導専門職付　貞方　貴衣